

経営協議会報

総務部総務課

平成18年10月31日（火） 経営協議会

審議事項

(1) 平成19年度予算編成の基本方針（案）について

岩政理事から、平成19年度予算編成の基本方針（案）について、資料に基づき説明があった。

審議の結果、原案どおり了承された。

なお、審議に当たって委員から主に次のような発言があった。

- ・学長裁量経費で重点的な個性を発揮するための経費の投入が必要で、平成19年度予算編成の基本方針（案）では、それが配慮されている。外部資金の獲得についても今後ともチャレンジして欲しい。
- ・外部資金を獲得するには実績が必要である。教員側も意識を変え、地域の産業活性化に積極的に参加する姿勢が必要である。
- ・外部資金の獲得には、亜熱帯・島嶼性という地域特性をいかに発揮し、特色ある取り組みをするかが重要である。また、太平洋島サミットなど琉大に追風が吹いている。ODA 予算を視野に入れた戦略に取り組んで欲しい。

(2) 平成20年度概算要求の基本方針（案）について

岩政理事から、平成20年度概算要求の基本方針（案）について、資料に基づき説明があった。

審議の結果、原案どおり了承された。

なお、審議に当たって委員から、観光科学科や移民研究センター等において、長期海外留学支援の概算要求を活用してはどうかとの発言があった。

(3) 国家公務員給与法改正に伴う本学職員の給与の取扱いについて

総務部長から、国家公務員給与法改正に伴う本学職員の給与の取扱いについて、資料に基づき説明があった。

審議の結果、原案どおり了承された。

報告事項

(1) 平成17年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

嘉数理事から、国立大学法人評価委員会による平成17年度に係る業務の実績に関する評価の結果について、資料に基づき報告があった。

(2) 平成19年度概算要求について

財務部長及び施設運営部長から、平成19年度概算要求事項等について、資料に基づき報告があった。

(3) 平成17年度決算について

財務部長から、文部科学省から公表された国立大学法人の平成17事業年度財務諸表の概要及び琉球大学の収益が上位にランクされていることの内容等について説明があった。

(4) その他

①学長から、運営費交付金と外部資金の獲得の大学間格差が拡大している旨、資料に基づき説明があった。

②嘉数理事から、琉球大学観光経営学部（仮称）設置に向けた国際ワークショップを11月17日に開催予定であることについて、資料に基づき報告があった。

③岩政理事から、2006年財務報告書の作成について、資料に基づき説明があった。なお、同資料については、県及び県内企業等関係者に配布する予定である旨報告があった。